

2015年6月13日～14日 南八ヶ岳縦走

メンバー：倉澤、佐藤

この所、八ヶ岳を縦走したことが無い。近くにありすぎて何時でも行けるという安心感と各ピークは登っているので新鮮味が無さそう、というのが理由かもしれない。だが、自宅から眺める稜線を久しぶりに歩いてみようという気持ちにさせてくれたのは、この夏に北アルプスを縦走しようと言いつけているメンバーの声。そこで、体力作りの一環で歩いてみましたが、八ヶ岳ならではの魅力を再発見できた良い山行となりました。

「行動記録」

6月13日（晴れ）：富士見高原駐車場5：50（発）～編笠山9：25～権現岳11：55～キレット小屋14：00（泊）

終着地の唐沢鉱泉に車をデポし、富士見高原登山口から縦走開始。今日はキレット小屋でテン泊予定。事前にアブが出ると脅されていたが、編笠山周辺には時期が早く出ていない。最初ペースが良くこのままでは午前中にキレット小屋に着いてしまいそうなので、乙女の水で重量物（水）を背負い込む。途中、編笠山から権現岳は人も多くさすが人気の山である。花も咲き誇っていたが名前がよく判らず、「花好きが居れば楽しかったな」などと話しながら14:00にキレット小屋へ。雪渓からの水場もあったが各自1リットルの行動水、共同水として4.5リットルの水を運んだのでお世話にならず、水場の無い明日の行動用としても十分。16：00頃まではテン場に到着する人が居り結構な賑わいを見せていた。

6月14日（晴れ～曇り）：キレット小屋4：50（発）～赤岳6：30～横岳8：20～硫黄岳9：20～根石岳10：55～東天狗11：45～西天狗岳12：05～唐沢鉱泉14：15（着）

一年で一番日の出が早い時期であるため、早くからの行動が可能。起床から行動開始まで1時間30分を目標にしたが少しオーバー。天狗尾根からの赤岳を見ながら岩稜帯を登る。ここは、ガレ場も多く下降路として使うのであれば落石の誘発に注意しないといけない所。後からの登山者も居るのでこちらも十分に落石に注意しながら赤岳に至る。山頂は多くの人で賑わっている。展望荘でコーラを買い乾いた体に潤いを。横岳までは渋滞も起こっているがこの時期はウルップソウ、ツクモグサが割いているのでしかたがない。他の花も負けじと咲いている。硫黄岳も過ぎると人が少なくなり花も少々少なめ。根石岳あたりで学生山岳部の重そうなザックに感心しながら天狗岳に至り、西尾根経由で唐沢鉱泉へ。帰りの車中、歩いてきた稜線を見ながら「人の足ってすごいな」などと話しながら帰宅。

